

# 日刊建設工業新聞

2020年1月6日付 掲載

## 電子契約記録債権化 サービス提供を開始

### リーテックス

法律とテクノロジーを組み合わせたリーガルテックなどを手掛けるリーテックス（東京都千代田区、小倉隆志社長）は、電子契約を電子記録債権化した「リーテックスデジタル契約」を開発し、2019

年12月26日からサービスの提供を開始した。

インターネットで契約締結やデジタル契約の保管・管理・閲覧・検索、電子記録債権の記録請求などが可能になる。

契約書をペーパーレス化するとともに契約金額や支払期日も管理できるため、業務の効率化につながるとしている。電子記録債権化することにより、デジタル契約を金融機関の担保として資金調達に活用することも可能。同社によると、このような特長を持った電子契約システムは世界初という。

料金はスタンダードプランが1カ月当たり1万円から、契約発信を2回までできるエントリープランは無料となっている。